

議場で永遠の平和を願い被爆体験を伝える被爆体験記朗読会 参加者も原爆詩を朗読体験

市では15日、平和行事の一環として今年初めて「被爆体験記朗読会」を議場で開き、子どもも含め多くの市民が参加しました。

今回の「被爆体験記朗読会」には、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の朗読ボランティア2名の方が、被爆体験者の詩を朗読し、あらためて原爆の恐ろしさ、平和の大切さを伝えてくれました。



朗読の前には、「原爆の被害について」の概要ビデオが上映されました。

参加者3名が、原爆詩の朗読を体験しました。

旧土岐家住宅洋館移築工事見学会が開かれました

沼田公園から上之町に移築工事がすすめられている国登録有形文化財の旧土岐家住宅洋館（旧土岐邸洋館）の移築工事見学会が10日、上之町の工事現場でおこなわれました。



旧土岐家住宅洋館は、大正13年（1924）に建てられ、ドイツの郊外の別荘風の建物で、外観は洋風ですが、内部は和風と洋風の作りになっており、大正時代に建てられた洋館の特徴があり、平成2年（1990）沼田藩主を勤めた土岐家から寄贈されました。

にぎやかに 楽しく 白沢町盆踊り大会

第44回白沢町盆踊り大会が14日、白沢支所駐車場でおこなわれました。

白沢町盆踊り大会は、白沢町の人たちが実行委員会を立ち上げ、盆踊りだけでなくお楽しみ抽選会や屋台などの出店、二荒太鼓の演奏、フラダンスなどもおこなわれました。



盆踊りの最後には、尾合八木節保存会のみなさんによる歌と囃子で、八木節を踊りました。

終戦記念日に力を合わせ平和を守ろうと街頭から訴え

大東議員は15日の終戦記念日に、街頭から力を合わせ憲法9条と平和を守りましょうと訴えました。



大東議員は戦前、専制政治と国民の抑圧が、戦争と不可分一体だったことから、安倍首相が強引に押し進めようとする改憲をくい止めましょうと呼びかけました。

2019年8月25日

NO. 618

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。「あいちトリエンナーレ」で、1日開幕した企画展の一つ「表現の不自由展・その後」は、愛知県美術館で10月14日まで開かれる予定でしたが、わずか3日で中止に追い込まれました。

「慰安婦」を題材にした少女像などの作品が公表されると、テロ予告や脅迫を含むファクスや電話が殺到し、展示を視察した河村名古屋市長が少女像の展示について「日本国民の心をふみにじるもの」などのべ、大村愛知県知事に即時中止を求める公文書を送りつけたら、菅官房長官が「補助金交付の決定にあたっては、事実関係を確認、精査して対応したい」と、公金の差し止めを示唆するなど、暴力や脅迫で自由な表現の場を奪うことや政治家が展示内容に介入することは許されません。



戦前、多様な価値観を認めず、民主主義を抑圧し、戦争にすすんだ反省から憲法21条では「表現の自由」を定め、検閲の禁止を明記しています。

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その二十九

赤城根鉱山跡

根利川の右岸、小松から柿平にかけては小松鉱山、赤城根鉱山（柿平）がありました。

赤城根鉱山は、金、銀、銅、鉛、亜鉛などが採掘されてきましたが、江戸時代の安政年間（1855～1860）に江戸の橋本代次郎が足尾の工夫を招いて採掘をしたのがはじまりといわれています。



明治時代には採掘が再開され、明治31年（1898）～明治35年（1902）には、所員40人、鉱夫が500人と最も盛んに採掘されていましたが、その後、会社も変わり、昭和30年（1955）に採掘が打ち切りとなりました。

輪組の浅間神社

輪久原の東側の小高い山の頂上に富士浅間神社の祠があり、地元ではオフジサンとよばれています。

この神社は、安産の神様として崇拝され、神社までの参道の両側には、庚申、馬頭観音と彫られた石塔が並んでいます。



神社への登り口には、「蚕影神社」と彫られた安政7年（1860）に建てられた石塔があり、台座は「右山道 左 日光」と彫られています。